

みんなで  
考えよう  
人権・同和問題  
No. 206

このコーナーでは、隔月のシリーズで掲載  
しています。これを手がかりに、家庭で人権・  
同和問題について話し合ってみましょう。

## 気づく心を大切に

先日、ベビーカーを押す機  
会がありました。駅からホテ  
ルまでのわずかな距離だった  
のですが、何度も立ち止まり、

るところにも、思わぬ落とし  
穴があることに初めて気がつ  
きました。自分が体験してみ  
ての貴重な発見でした。

車輪を上げたり向きを変えたりと四苦八苦しました。わず  
か1センチメートルほどの段  
差やところどころに穴のあ  
いた溝のふた、道路のでこぼ  
こなどに車輪がはさまって動  
けないことがたびたび起こり  
驚きました。いつもはほとんど  
気にすることもなく通り過ぎ

それからは、いつもベビ  
ーカーを押しているつもりで周  
りのものを見始めました。す  
ると、多くのことが見えてき  
ました。段差やでこぼこが何  
と多いことかと本当にびつ  
りさせられました。いつもの  
風景が違って見えるのです。  
これが、『気づく』ということ  
なのでしょう。私の視点が変  
わりました。視点が変われば

目に入ってくるものも違っ  
てきますし、感じ方も違っ  
てきます。『何とかしなければ  
ない』という心の変化も現れ  
始めました。

バリア（障害となるもの）  
を取り除き、初めから誰もが  
使いやすいものを作る『ユニ  
バーサルデザイン』という言  
葉が最近聞かれるようになって  
きました。子どもから高齢  
者まで、誰もが暮らしやすい  
世の中をつくっていくのは、  
私たち自身です。あなたも、  
いつも通る道を普段と違う視  
点で見えてみるのはどうでし  
ょうか。『気づく心』がまちづ  
りに生かされ、誰もが幸せだ  
と感じる人権尊重の伊万里市  
にしたいものです。

## 小学生が『子ども図書館員講座』を受講

### 図書館の仕事を張り切って体験！

夏休み期間中の7月30日か  
ら8月7日にかけて『子ども図  
書館員講座』が市民図書館で  
ありました。これは、図書館  
の仕事などを通じて、子ども  
たちが図書館への理解を深め、  
学校や地域の中で、読書の大  
切さや楽しさを広めてもら  
うと実施されたものです。

参加した市内の小学生16人  
は、デスク業務や壁新聞作りな  
ど充実したメニューの必修講座  
のほか、おはなし会の実演か  
布の作品づくりを選ぶ、選択講座  
に挑戦。貴重な体験に目を輝か  
せたり、楽しく交流を深め合っ  
たりしながら頑張つて、全員が  
修了証をもらいました。



↑バーコードを読み取る業務を体験する児童

## 郷土の文化財

会に行ける焼き物⑥

そのつけいわさきもんざら

### 染付岩笹文皿

単色による奥行きと存在感

◆問合先 生涯学習課

(☎233186)

染付岩 笹文皿は、  
1700年～1730年代  
に作られた染付の鍋島焼で、  
口径15・0センチ、底径8・3センチ、  
高さ4・0センチの五寸皿です。

と描かれた笹の後ろに薄く  
ぼんやりと別の笹が描かれ、  
奥行きを持った光景が表現  
されています。

鍋島焼は、出来上がった  
製品を役人が点検し、少  
しでも出来の悪い製品は、そ  
の高度な製造技術をほかの  
地に漏らさないために、す  
べて割つて人の目に触れな  
いように土中に埋めていま  
した。

染付岩笹文皿は、伊万里  
鍋島ギヤラリーで開催中の  
「涼やかなうつわたち 鍋島  
焼、古伊万里展」で、公開  
されています。

開館時間や入館料など  
については、伊万里・鍋島ギ  
ヤラリー（☎22267）ま  
で問い合わせてください。

この染付岩笹文皿

は、鍋島焼の盛期の作  
品です。岩とその周り  
に生えた笹を染付のみ  
で描いています。ただ、  
平面的に描いているの  
ではなく、岩は輪郭を  
力強く描くことで、重  
厚な存在感を表してい  
ます。また、はつきり

